

第3学年1組 外国語活動学習指導案

授業日 平成28年6月30日(金) 2校時

授業者 附属新潟小学校 教諭 茂木 智弘

会場 3年1組教室

1 単元名

How are you? - 新教材 Lesson 2 -

2 本単元の価値

本単元は、「小学校学習指導要領第4章外国語活動(H29.3)及び解説(H29.6)」の目標及び内容を受けて設定した。

第2節 英語

第2 各言語の目標及び内容等

1 目標

英語学習の特質を踏まえ、以下に示す、聞くこと、話すこと[やり取り]、話すこと[発表]の三つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、第1の(1)及び(2)に示す資質・能力を一体的に育成するとともに、その過程を通して、第1の(3)で示す資質・能力を育成する。

(1) 聞くこと

イ ゆっくりはっきりと話された際に、身近で簡単な事柄に関する基本的な表現の意味が分かるようにする。

※ 基本的な表現の意味が分かるとは、話し手の顔や表情や身振り、イラストや写真等を手掛かりとして、基本的な表現を聞いて理解することから徐々に手掛かりがなくても意味が分かるようになることを目指している。

(2) 話すこと [やり取り]

イ 自分のことや身の回りの物について、動作を交えながら、自分の考えや気持ち等を、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うようにする。

※ 事実だけでなく自分の考えや気持ち等を伝え合うことが大切であり、その際言葉だけでなく、動作や表情を手掛かりにすることで、相手の意図をよりよく理解したり、動作を加えて話すことで、自分の考えや気持ちをより分かりやすく伝えたりすることを児童が実感できるようにする。

2 内容

[第3学年及び第4学年]

(1) 英語の特徴等に関する事項 [知識・技能]

ア 言語を用いて主体的にコミュニケーションを図ることの楽しさや大切さを知ること。

※ 必然性のある場面において、自ら発話したり、相手の伝えたい内容を受け止めようとして聞いたりする。

(2) 情報を整理しながら考え等を形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項 [思考力、判断力、表現力]

イ 身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ち等が伝わるよう、工夫して質問したり、質問に答えたりすること。

※ どうすれば相手により伝わるかを思考しながら、表現する内容や表現方法を自己選択し、尋ねたり答えたりするようにする。

(3) 言語活動及び言語の働きに関する事項

① 言語活動に関する事項

ア 聞くこと

(イ) 身近な人や身の回りの物に関する簡単な語句や基本的な表現を聞いて、それらを表すイラストや写真などと結びつける活動。

※ 生活の中で、耳にする音声が具体的な場面や事物と結び付き、その意味を自ずと理解させていく。

イ 話すこと [やり取り]

(イ) 知り合いと簡単な挨拶を交わしたり、感謝や簡単な指示、依頼をして、それらに応じたりする活動。

※ 簡単な挨拶は、言葉のやり取りだけに終始するのではなく、場面設定をし、意味のあるやり取りを通して互いの心を通わすことの大切さを児童に意識させるとともに、その楽しさを実感させる。

Lesson2 How are you?は、英語を学ぶ子どもたちにとって自分の気持ちを表現する初めての内容である。本来、言葉は全てに情意を伴うものである。特に、コミュニケーションを大切にする昨今の日本の外国語教育においては、相手の意図を理解しようとする、自分の意図を伝えようとするコミュニケーション能力を育む上で、必要不可欠なものになっている。

Lesson2 で自分の気持ちを最も表出される部分は、I'm ○○の部分である。この○○部分には、自

分の体調を含めた気持ちを表すため、言葉を中心としたもっている知識を総動員して、表現方法を工夫することができる。

従来指導では、気持ちを表す英語と絵や画像と関連付けて教えたり、チャンツでリズムに乗りながら楽しく学んでいく指導が多かった。しかし、繰り返し使う頻度の高いこの英語は、慣れていけばいく程、形式的になることも多く、自分の気持ちとは関係なく、始めに覚えた感情を表す英語 Fine を常に使っている実態も少なくない。これは、自分の気持ちが置き去りにされ、英語と日本語が結びついただけのまま、長期記憶として蓄積してしまっているからである。このような子どもは、その後の英語を学ぶ上でも英語＝覚えるものとして認識してしまい、母語（日本語）では、情操豊かに言葉を使えるにもかかわらず、英語では自分の情意とは関係なく使う姿が見られるようになる。つまり、感情を扱う英語を初めて学ぶ How are you? は、今後の学びにも大きな影響を及ぼすのである。

私は、感情を表す英語を自分の気持ちに合った表現でできるように次のような工夫をする。一つは、使っている英語と様相(抑揚・表情・ジェスチャー等)が伴わないモデルを提示することである。子どもは、自分の気持ちを英語で言えたことに満足してしまい、それが相手に伝わっているかどうかを意識できないことがある。そこで、使っている言葉と様相が明らかに合わない姿とそれを受けた相手のリアクションモデルを提示することで、自分の表現方法を見直すことを促す。次に、改善策を考え、それを実際に相手に向けて伝えることで、本当に伝わっているかどうか自覚できるアクティビティを繰り返し仕組む。そうすることで、子どもは、言葉の要素(抑揚・働き・使い方等)に気付き、伝え方を工夫するようになる。このような子どもは、言葉と情意とを関連付けて記憶するため、互いを理解し合うコミュニケーションにおいて、有効な手段と英語となり得る。これが本単元の価値である。

3 本単元で目指す姿

言葉の要素(意味・働き・使い方等)に気付き、聞き方・伝え方を工夫する子ども

他者とのかかわりから言葉(英語)に着目するという「見方・考え方」を働かせ、外国語活動、国語科の資質・能力を発揮しながら、アクティビティ等において伝え方を工夫する姿。

具体的には、**他者とのかかわりから言葉(英語)に着目する**という外国語活動と国語科の「見方・考え方」を働かせ、外国語活動、国語科の資質・能力を発揮しながら、言葉の要素に気付き、伝え方(声・表情・ジェスチャー)を工夫する姿。

※ 目指す姿を経て、様々な目的や場面、状況に応じて、コミュニケーションを図る姿

具体的には、「シヨーン先生やジェーン先生等に、自分の体調「I'm happy.」「I'm so-so.」を伝えるために、声・表情・ジェスチャーを工夫して伝えたら、「それはいいね」「大丈夫？」等とってもらえて嬉しかった」という姿

4 本単元で育成する資質・能力

単元カード参照

5 指導計画 全5時間(150)

単元カード参照

6 指導の構想

単元導入において子どもは、「色々な人と英語であいさつをしよう！」という課題を理解し、必要な言語材料に触れている。

※ 必要な言語材料

英語表現＝ Hello! Hi!

How are you ? / I'm fine, thank you. and you ?

語彙 ＝ excellent, excited, great, happy. good, fine, so-so, bad, sick, sleepy, tired, sad 等

※ 必要な学習内容

外国語活動＝ Hi, friends 1 Lssone 2 How are you? [Let's listen. Let's play.] [Hello song/Seven steps]

国語科＝ 「すいせんのラップ」「ゆうすげ村の小さな旅館」の音読

このような状況において次の働き掛けをする。

働き掛け 1

違和感のある ALT と HRT のあいさつモデルを提示し、何が問題かを問う。

言葉による見方・考え方を働かせながら問いをもたせるための働き掛けである。

必要な言語材料や学習内容で触れている子どもに、ALT と HRT のあいさつ(言葉と声、表情、ジェスチャーが一致していないために、相手が疑問をもっている)モデルを提示する(全体提示)。すると子どもは、**ALT と HRT とのかかわりから体調を表す英語に着目し**、違和感をもつようになる。そこで教師は、何が問題なのかを問う。子どもは、もった違和感から、コミュニケーションが成立していないことに気付き、どうしたら改善できるのか考えるようになる。この姿を問いをもった姿とする。

働き掛け2

繰り返し違和感のある ALT と HRT のあいさつモデルを確かめさせ、原因と改善策を問う。

言葉の要素に気付かせ、活動への見通しをもたせるための働き掛けである。

どうしたら改善できるのか問いをもっている子どもに、繰り返し違和感のある ALT と HRT のあいさつモデルをタブレット端末を使って、班で確かめさせる。1つのモデルを様々な視点からじっくり観ることで、改善策をより多く引き出すためである。子どもは、**ALT と HRT とのかかわりから(体調を表す)英語に着目し**、言葉の要素(声・表情・ジェスチャー等)に気付き、体調を表現するためにはどのようにすればよいか考える(①知識・技能、④協働性、⑤ツール活用能力)ようになる。このような子どもに学級全体で原因と改善策を問う。すると子どもは、考えた改善策「言葉を体調に合った声にする。表情やジェスチャーを加える等」を表出するようになる。教師は、改善策を聞きながら、何故そう考えたのか、具体的にどう言うことを言っているのかを問い返ししながら、改善策を声、表情、ジェスチャーに分類しながら整理する。子どもは、改善策と共にその改善策を考えた理由や具体から友だちとの共通点、相違点に気付き、体調に合ったあいさつを表現する手段を考えるようになる。この姿が見通しをもった姿である。

働き掛け3

学習形態を変化させながら、魅力的なチャンツとアクティビティをさせる。

想定した資質・能力を発揮し、伝わった達成感をつかませるための働き掛けである。

自分なりの改善策を考えた子どもに実際に使わせる。使わせるチャンツとアクティビティは、限定された相手から不特定多数の子どもへと変化をさせながら、繰り返しさせる。場面や状況の変化があっても使える実感をもたせるためである。子どもは、**コミュニケーションを図る相手とのかかわりから(体調を表す)英語に着目し**、場面や状況に応じて、英語を選択し、伝えたい体調が伝わるように伝え方を工夫しながら積極的にやり取りするようになる(①知識・技能、②思考力・判断力・表現力、態度③)。

このようにして一連の学習を経て、**言葉の要素(意味・働き・使い方)に気付き、聞き方・伝え方を工夫する子ども(Cn)**が目指す姿である。

働き掛け4

チャンツやアクティビティで分かったこととできたことを問う。

発揮した資質・能力を自覚させるための働き掛けである。

チャンツやアクティビティでやり取りした子どもに、どんなことが分かり、どんなことができたかを記述させる。すると子どもは、体調を表す英語を声や表情、ジェスチャーを工夫したら、伝えたい体調が伝わった等と発揮した資質・能力について自覚するようになる。

※ 目指す姿を経て、単元終末では、様々な目的や場面、状況に応じて、コミュニケーションを図る姿として次のような姿を目指す。

「ショーン先生やジェーン先生等に、自分の体調を伝えるために、英語の抑揚・情報・ジェスチャー等を工夫して伝えたら、それはいいね。大丈夫?等と言ってもらえて嬉しかった」

7 本時の構想 (本時 3/4時間)

(1) ねらい

体調を表す英語を使うためには英語と声の抑揚・表情・ジェスチャーを一致させることに気付き、自分の体調を表現する伝え方を工夫する子ども

他者とのかかわりから体調を表す英語に着目するという「見方・考え方」を働かせ、外国語活動、国語科の資質・能力を発揮しながら、アクティビティ等において伝え方を工夫する姿。

具体的には、**他者とのかかわりから言葉(英語)に着目する**という外国語活動と国語科の「見方・

考え方」を働かせ、外国語活動、国語科の資質・能力を発揮しながら、体調を表す英語の要素(声・表情・ジェスチャー等)に気付き、「I'm happy thank you, and you?(happy を表現する声、表情、ジェスチャーを工夫している)」等、伝え方を工夫する姿。

(2) 主張(展開) 3Q (45分)

このように子どもに (C0)

- 「色々な人と英語であいさつをしよう！」という単元の課題を理解している。
- 必要な言語材料や学習内容に触れている。
 - 必要な言語材料
 - 英語表現 = Hello! Hi! How are you? / I'm fine, thank you. and you?
 - 語彙 = excellent, excited, great, happy. good, fine, so-so, bad, sick, sleepy, tired, sad 等
 - 必要な学習内容
 - 外国語活動 = Hi, friends! Lesson 2 How are you? [Let's listen. Let's play.] [Hello song/Seven steps]
 - 国語科 = 「すいせんのラップ」「ゆうすげ村の小さな旅館」の音読
- 英語と声・表情・ジェスチャーとがなかなかつながらない。

このように働きかけると【働き掛け1】

- 【Greeting & Warm-up】
 - ・指示「Stand up, please. Let's chant! Are you ready?」
 - ※ Hello chant を流す。
 - ・指示「Hello everyone! How are you? I'm ○○, thank you.」
 - ※ How are you? の反応を本時の C0 とする。
- 違和感のある ALT と HRT のあいさつモデルを提示する。
 - ・説明「みなさんは、『色々な人と英語であいさつをしよう!』と目標のために、英語のあいさつについて勉強してきましたね。今日は、みんながする前に先生がやってみただので、観てください」
 - ※ あいさつモデルを大型テレビに映す。
- 何が問題かを問う。
 - ・発問「気になっているところはありますか」
 - ※ HRT は、いつものあいさつをしていることを主張する。
 - 補助発問「どこからそう思ったのですか」
 - 補助発問「それはなぜですか」
 - 補助発問「今、みんなが考えていることは何ですか」
 - 補助発問「同じことを考えている人はいますか」

このようになり (C1)

- Chant をして、HRT にあいさつを返す。
 - ・OK!
 - ・♪ Hello! Hello! Hello! How are you? I'm good. I'm good. I'm good thank you, and you? ♪
 - ・I'm good, thank you. and you? (声や表情は明るいが、ジェスチャーがない)
 - ・I'm happy, thank you. and you? (暗い声と暗い表情、ジェスチャーがない)
 - ・I'm bad, thank you. and you? (明るい声や明るい表情、ジェスチャーは元気がない)
- ※ _____ のように言葉と声、表情、ジェスチャーが1つでも合っていない部分のある児童を C0 とする。
- あいさつモデルに違和感をもつ。
 - ・あれ、ショーン先生がなんかへんな顔をしているぞ。
 - ・何か言っているね。なんか心配そうな感じのことをいっているぞ。
- ショーン先生が何を言っているのか、それは何故かを考える。
 - ・多分さ、先生が言っていることが変で、ショーン先生は心配しているんだよ。
 - ・いやいや、先生。多分、ショーン先生に上手く伝わっていないんだよ。
 - ・でも、ちゃんと I'm happy. って言っていたのに、変だよな。
 - ・先生は、ちゃんと言っている(答えている)のに、なんでショーン先生は、変な感じなんだろう。
- ※ _____ のように ALT と HRT とのかかわりから体調を表す英語に着目し、伝わらない違和感をもっている姿また、同じ考えか聞かれて挙手をしている姿を問いをもった姿とし、通過とする。また、これを本時の学習課題とする。

このように働きかけると【働き掛け2】

- 繰り返し違和感のある ALT と HRT のあいさつモデルを確かめさせる。
 - ・指示「みなさんのタブレットにその時にとった映像を送りました。なぜ、ショーン先生は、

変な表情だったのか、どうすればよかったのかを班で考えてみてください」
 ※班の学習形態にさせる。
 ※各班のタブレット端末にアングルを変えた動画を送信しておく。
 ○ 原因と改善策を問う。
 ・発問「映像を観て、分かったこと、こうするとよいということはありませんか」
 ※子どもの発言に応じて、分かったことと、こうするとよいことは、分けて発問する。

このようになり (C2)

- タブレット端末で繰り返しあいさつモデルを確かめる。
 (タブレット端末を繰り返し視聴しながら、友だちと話し合いながら)
- ※ のようにタブレットの動画を視聴して、考えている姿をツール活動能力を発揮したと判断する。
- ※ のように友だちと話し合いながら、考えている姿を協働性を発揮したと判断する。
 - ・あれ、先生なんかあんまり Happy そうじゃないじゃないか。
 - ・顔まで分かると、なんか声も小さいし、元気ない。
 - ・手の動きがなんか Tired みたいで、変な感じ。
 - ・Happy だったら、もっと明るい声がいいよね。
 - ・そうだよね。それに表情のもっと笑顔なはず。本当に Happy だったのかな。
 - ・それに、手の動きももっと Happy が伝わる動きがいいよね。例えば、ハートマークとかさ。
- 原因と改善策を考える。
 - ・先生の表情が Happy そうじゃない。
 - ・声もなんか暗くて Happy な感じがしない。
 - ・ジェスチャーは、Tired と勘違いされる。
 - ・もっと幸せそうに Happyって言うといい。例えばこんな感じに (I'm happy.)
 - ・表情は、Happy なんだからもっと明るい方がいいよ。
 - ・ジェスチャーは、両手を胸にあてるとか。
- ※ のように感情を表す英語に合った声、表情、ジェスチャーを考え、発言している姿を外国語活動①・国語科①を発揮したと判断する。

このように働き掛けると【働き掛け3】

- 学習形態を変化させながら、魅力的なチャンツをさせる。
 - ・指示「Let's hello chant! This is the blank version. Please, listen.」
 - ※感情ブランクバージョン (【働き掛け1】で行った I'm good.の部分の音声がない)の音源を流す。
 - ・発問「声がない部分があったね。どこの部分かな」
 - ・指示「どんな言葉が入れられそうかな」
 - ※何人かボランティアを募り、表現させる。
 - ・発問「Do you understand? Are you ready?」
 - ※英語が分からなかったら、日本語で言う。
 - ※指示「相手に伝わったか聞いてみましょう。また、その理由も聞きましょう」
 - 1 回目＝隣の人と向き合って、ペアで。
 - 2 回目以降＝号車ごとに時計回りで1人ずつずれて違う相手と。
- 学習形態を変化させながら、魅力的なアクティビティをさせる。
 - ・説明「次は、Hello Game!をします。Hello Game は、Sevensteps の曲で相手を探します。そして、みつけたらけたら英語であいさつをします。お互いにあいさつができたら座りましょう。全員座ったら、相手に自分の I'm ○○が伝わったか聞いてみましょう。また、その理由も聞きましょう。それが終わったら Please, stand up! と言いますので、2 回目の準備をしましょう」
 - ※ 説明は、実際にやりながら、確認しながらする。
 - ・指示「Do you understand? Are you ready?」
 - ※ Gameha, Sevensteps の速度変えるなど、変化を加える。

このようになり (Cn)

- ブランク Chant のルールを理解し、Chant の中で自分の表現したい体調を伝える。
 - ・I'm happy.の部分がない。
 - ・ぼくだったら I'm great!
 - ・わたしは、I'm happy!かな。

- ・ OK!
 - ・ ♪ Hello! Hello! Hello! How are you? I'm great. I'm great. I'm great thank you, and you? ♪
(great の部分を元気なことが分かる声, 表情, ジェスチャーで表現している)
 - ・ ♪ Hello! Hello! Hello! How are you? I'm sleepy. I'm sleepy. I'm sleepy thank you, and you? ♪
(sleepy の部分を眠そうな声, 表情, ジェスチャーで表現している)
 - ・ ♪ Hello! Hello! Hello! How are you? I'm happy. I'm happy. I'm happy thank you, and you? ♪
(happy の部分を明るく穏やかな声, 表情, ジェスチャーで表現している)
 - ・ いいね。そのジェスチャー。Great がよく伝わる。
 - ・ Bad でしょ。口の動きと, 顔で分かった。
 - Hello game!のルールを理解し, 取り組む。
 - ・ OK!
 - ・ Hello! How are you?
 - ・ I'm happy thank you, and you?(happy を表現する声, 表情, ジェスチャーを工夫している)
 - ・ I'm so-so. (so-so を表現する声, 表情, ジェスチャーを工夫している)
- ※ 次のような実際の姿を發揮したと判断する。

~~~~~のように目的や場面, 状況に応じて, 体調を表す英語を選択し (外国語活動②国語科②の發揮), \_\_\_\_\_のようにその英語に合った声, 表情, ジェスチャーを自分なりに工夫して表現している (外国語活動①国語科①の發揮) 姿を發揮したと判断する (声, 表情, ジェスチャーがC0と比べてどれかが変容を見せている子どものみ通過と判断する。ただし, 使われている体調を表す英語は, 変化していてもよい)。また, ~~~~~と\_\_\_\_\_の両方が發揮されている姿を積極的に取り組んでいる (外国語活動③国語科③) と判断する。

#### このように働きかけると【働き掛け4】

- チャンツやアクティビティで分かったこととできたことを問う。
  - ・ 指示「今日の活動を振り返って, 分かったこと, できたことを振り返りましょう」
- ※ プリント配布する。

#### このようになり (C4)

- 今日の授業で分かったこととできたこと記述する。
  - ・ 今日の授業では, happy とか sleepy ってただ言うだけじゃなくて, ジェスチャーや表情, 声の言い方等を意識して伝えるとよく伝わるのが分かった。
  - ・ あいさつの英語(I'm happy.)を声や表情, ジェスチャーを意識して, 友だちに伝えられた。
- ※ \_\_\_\_\_外国語活動① \_\_\_\_\_外国語活動②のように資質・能力を記述している姿を自覚したと判断する。

## 8 検証

### (1) 検証すること

- ① 構想した働き掛けにより, 想定したCnになったか。
- ② 構想した働き掛けにより, 想定した「見方・考え方」を働かせることができたか。
- ③ 構想した働き掛けにより, 想定した資質・能力を發揮することができたか。
- ④ 子どもは發揮した資質・能力を自覚することができたか。

### (2) 検証の方法

- ① 働き掛け2・3を受けて, ~~~~~のように言葉(英語)の要素に気付き, \_\_\_\_\_のように表現する手段(声, 表情, ジェスチャー)を工夫することができたかどうかを, 発言や実際の姿で判断する。
- ② 働き掛け1を受けて, \_\_\_\_\_のように体調を表す英語に着目し, 伝わらない違和感をもっているかどうかを発言または挙手で判断する。
- ③ 働き掛け2・3において, 次のような姿が見られたかどうか発言や実際の姿で判断する。
  - ア ~~~~~のように感情を表す英語に合った声, 表情, ジェスチャーを考え, 発言しているかどうかで判断する。
  - イ ~~~~~のように目的や場面, 状況に応じて, 体調を表す英語を選択し, \_\_\_\_\_のようにその英語に合った声, 表情, ジェスチャーを自分なりに工夫して表現しているかどうかで判断する。
- ④ 働き掛け4を受けて, \_\_\_\_\_や\_\_\_\_\_のように資質・能力を記述している姿を自覚したと判断する。